

経営比較分析表（平成29年度決算）

奈良県南和広域医療企業団 五條病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	2	-	-	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	10,366	第2種該当	13：1	

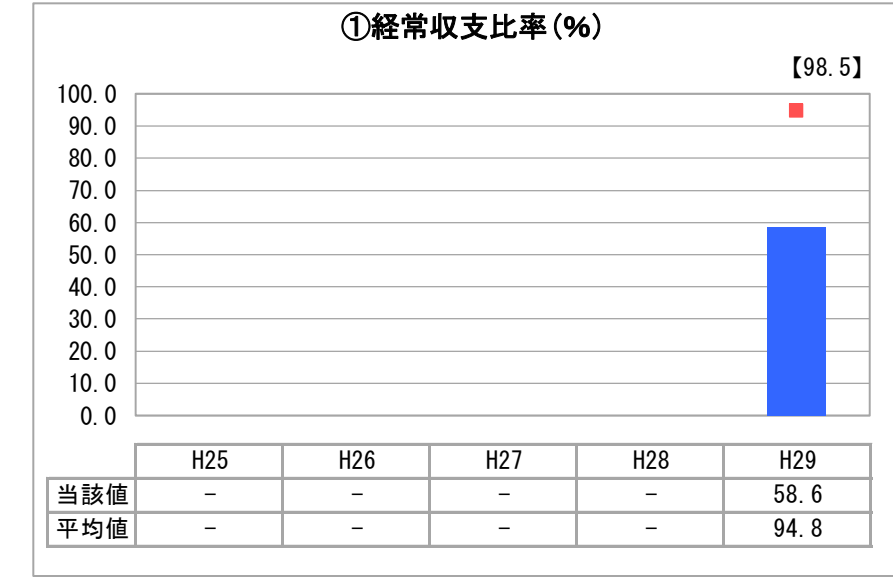
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

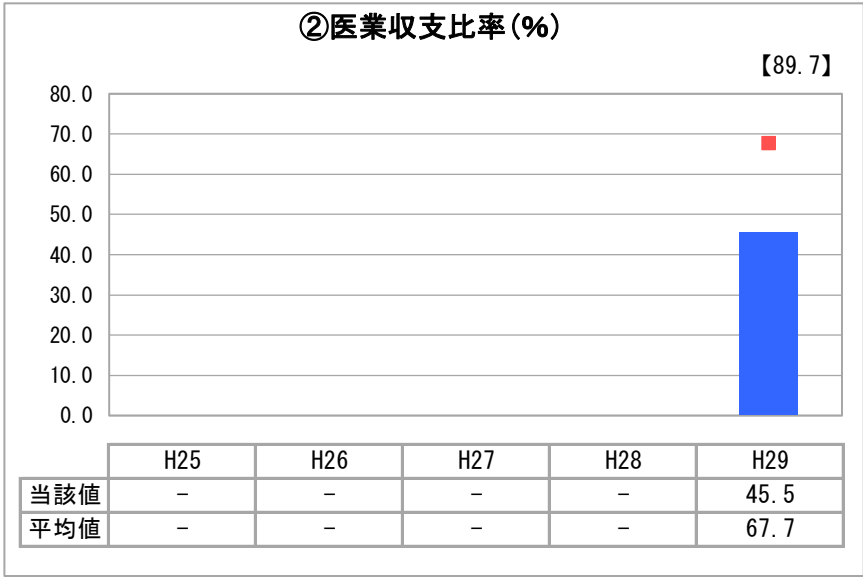
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
45	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	45
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般＋療養）
45	-	45

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

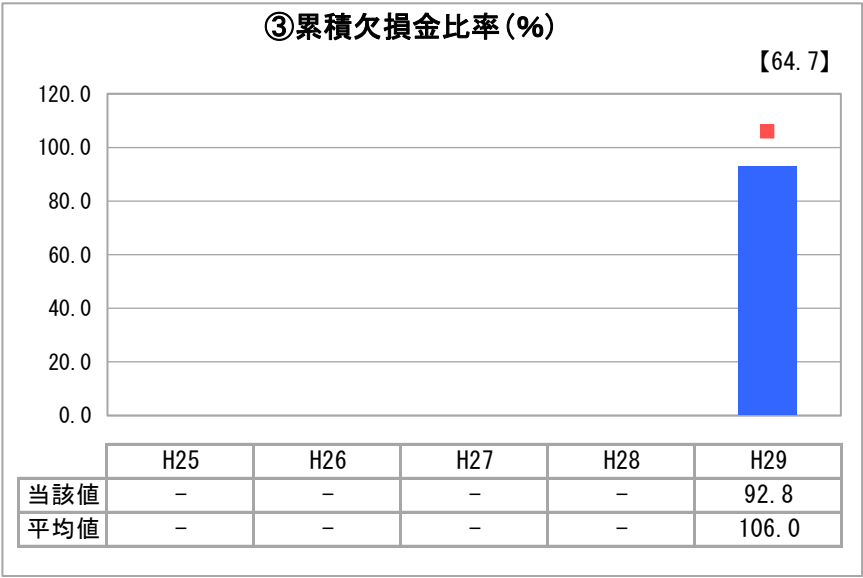
1. 経営の健全性・効率性



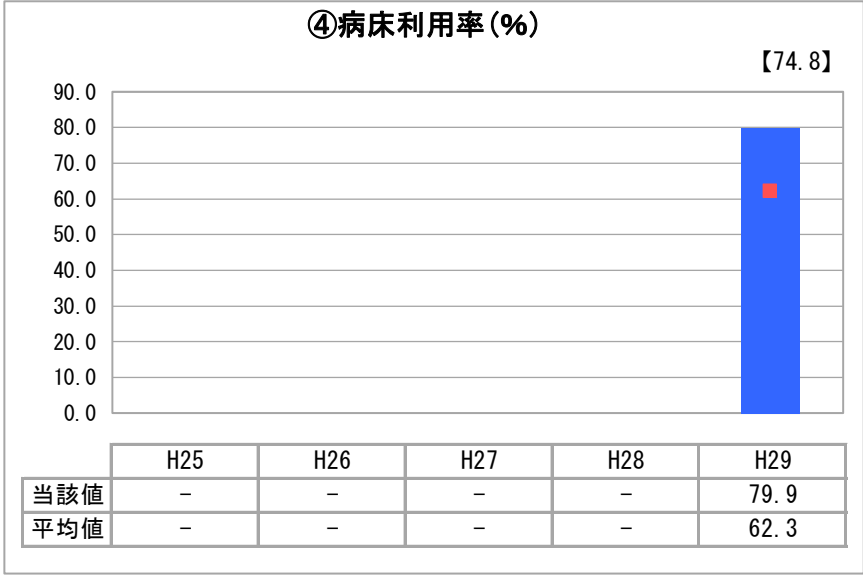
「経常損益」



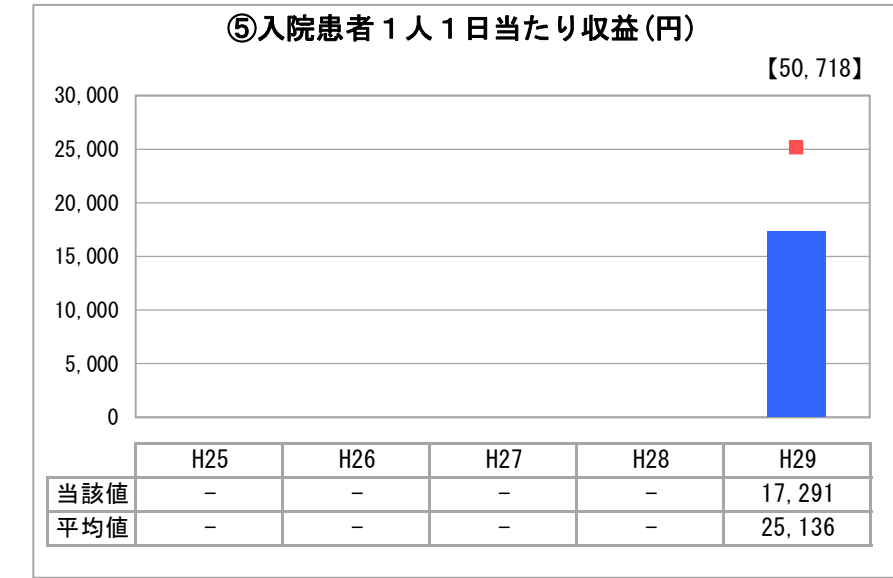
「医業損益」



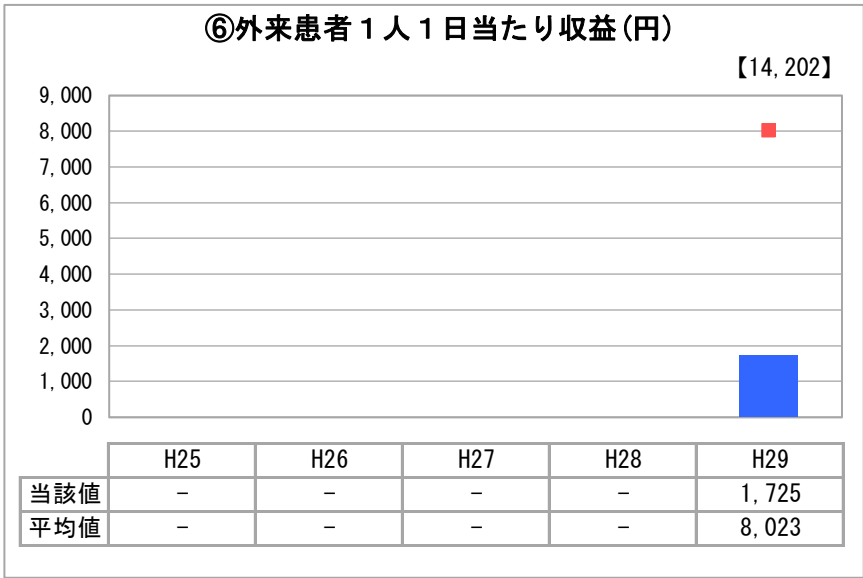
「累積欠損」



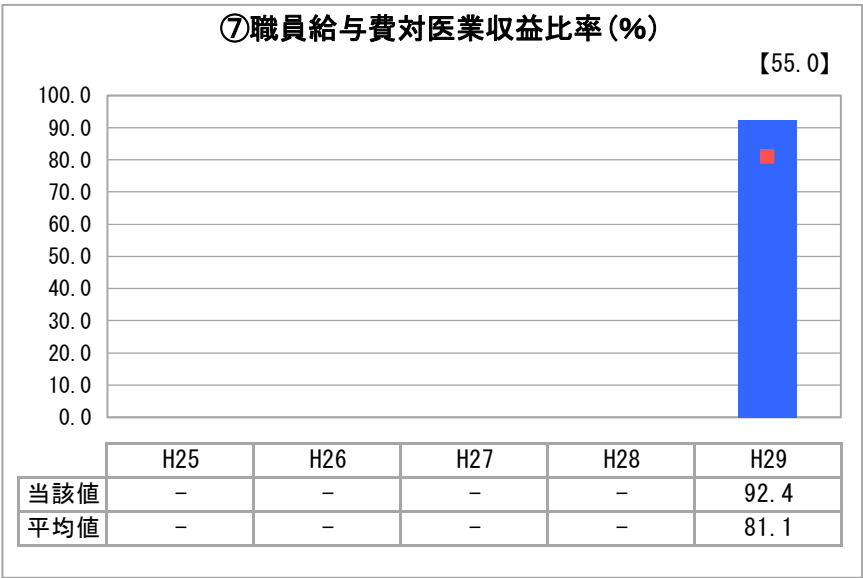
「施設の効率性」



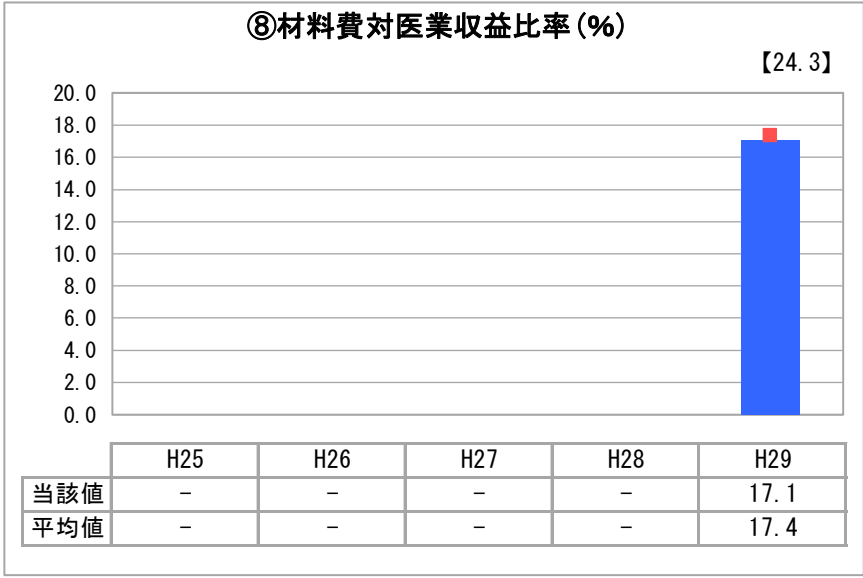
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

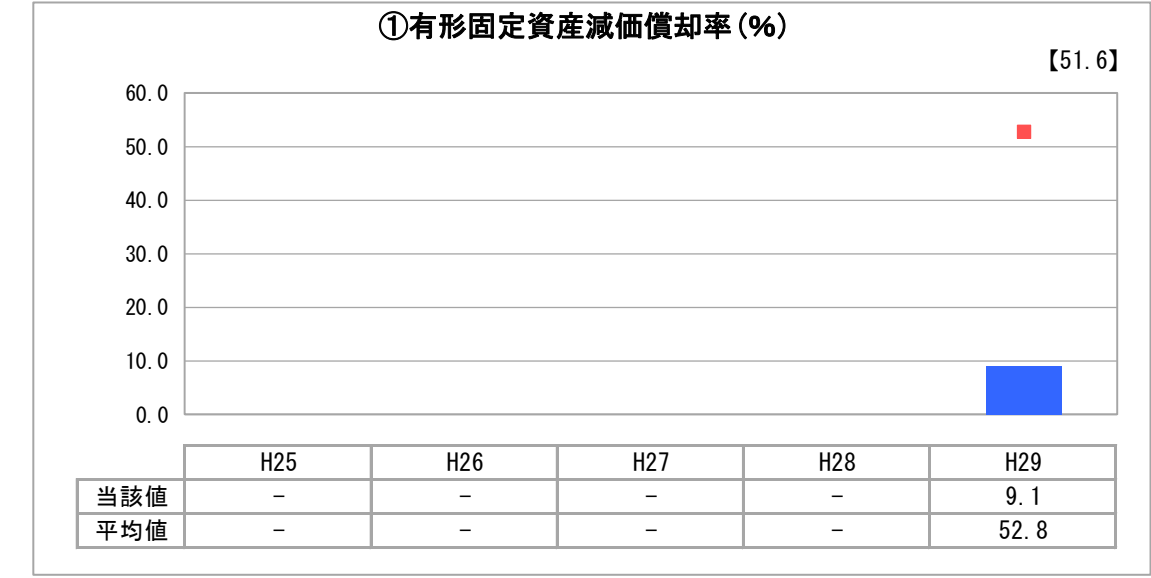


「費用の効率性①」

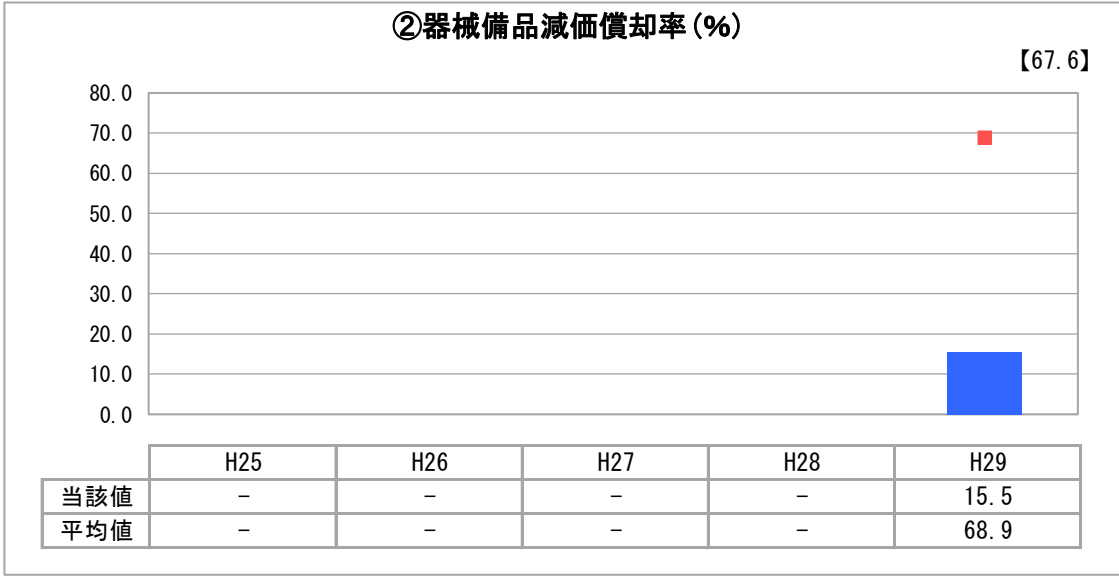


「費用の効率性②」

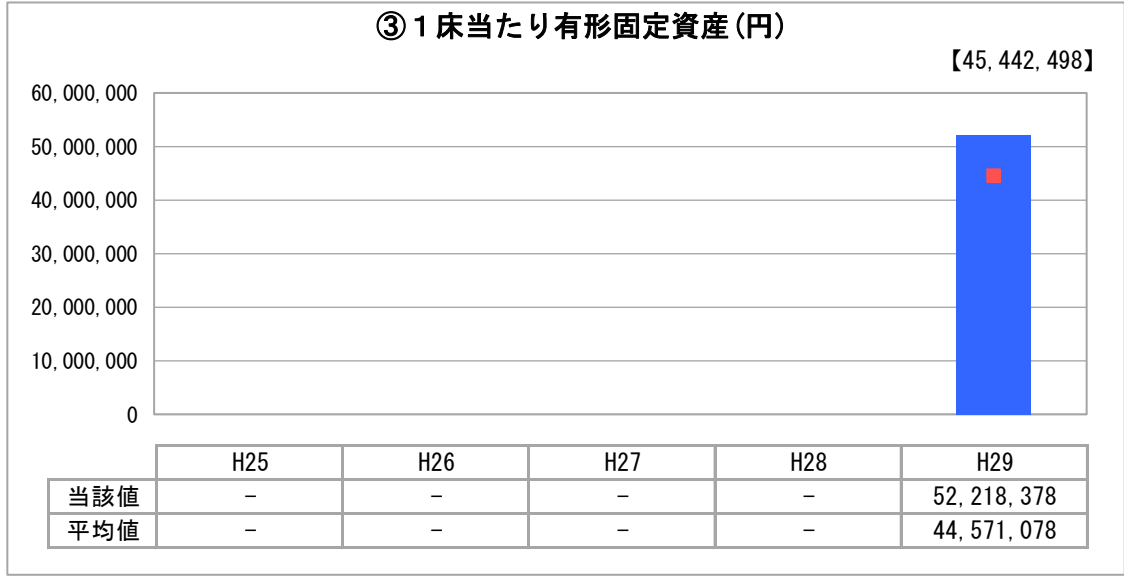
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

I 地域において担っている役割

療養への対応、在宅への連携を見据えた高齢者医療、身近な外来機能

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

南和保健医療圏内の公立3病院の病院機能を再編し、医療圏内における地域医療センター（回復期・慢性期）として平成29年度から、療養病棟（45床）を休床し、一般病棟（45床）のみで運用を開始した。

リニューアルのため1年間のブランクがあり、また、平成29年4月のリニューアルオープン後まだ日が浅いため、「①経常収支比率」及び「②医業収支比率」が平均値より大幅に低い。

今後、休床している病棟の運用等収益向上に向けた取り組みを進めていく。

2. 老朽化の状況について

医療圏内の公立3病院の再編により、旧県立五條病院の建物をリニューアルした関係もあり、「③1床当たりの有形固定資産」は類似病院平均値より高くなっている。

今後、減価償却費の増大が予想されることから、収入の確保に向け取り組みを進めていく。

全体総括

南和保健医療圏内の公立3病院を1つの救急病院（急性期）と2つの地域医療センター（回復期・慢性期）に再編した。

五條病院は、平成29年4月からリニューアルオープンしたところであり、今後は、公立病院改革プラン（南和広域医療企業団中期計画）に基づき、休床中の療養病棟（45床）の段階的運用、南奈良総合医療センターや地域の医療機関との連携強化等、入院・外来患者の増加等に積極的に取り組んでいく。